

地震ハザードマップ

出典：地震被害想定（平成 19 年 3 月 大阪府）
南海トラフ巨大地震（平成 25 年 8 月 大阪府南海トラフ巨大地震被害対策等検討部会）

このマップは、岸和田市域に大きな影響を及ぼす可能性のある地震が発生した場合、どのくらいの震度が予想されるかを示したものです。市域に大きな影響を及ぼす可能性のある地震は、①上町断層帯地震、②中央構造線断層帯地震、③南海トラフ巨大地震の3つです。皆さんのお住まいの地域でどのくらいの揺れが予想されるのかを確認し、地域の地震対策に役立てて下さい。

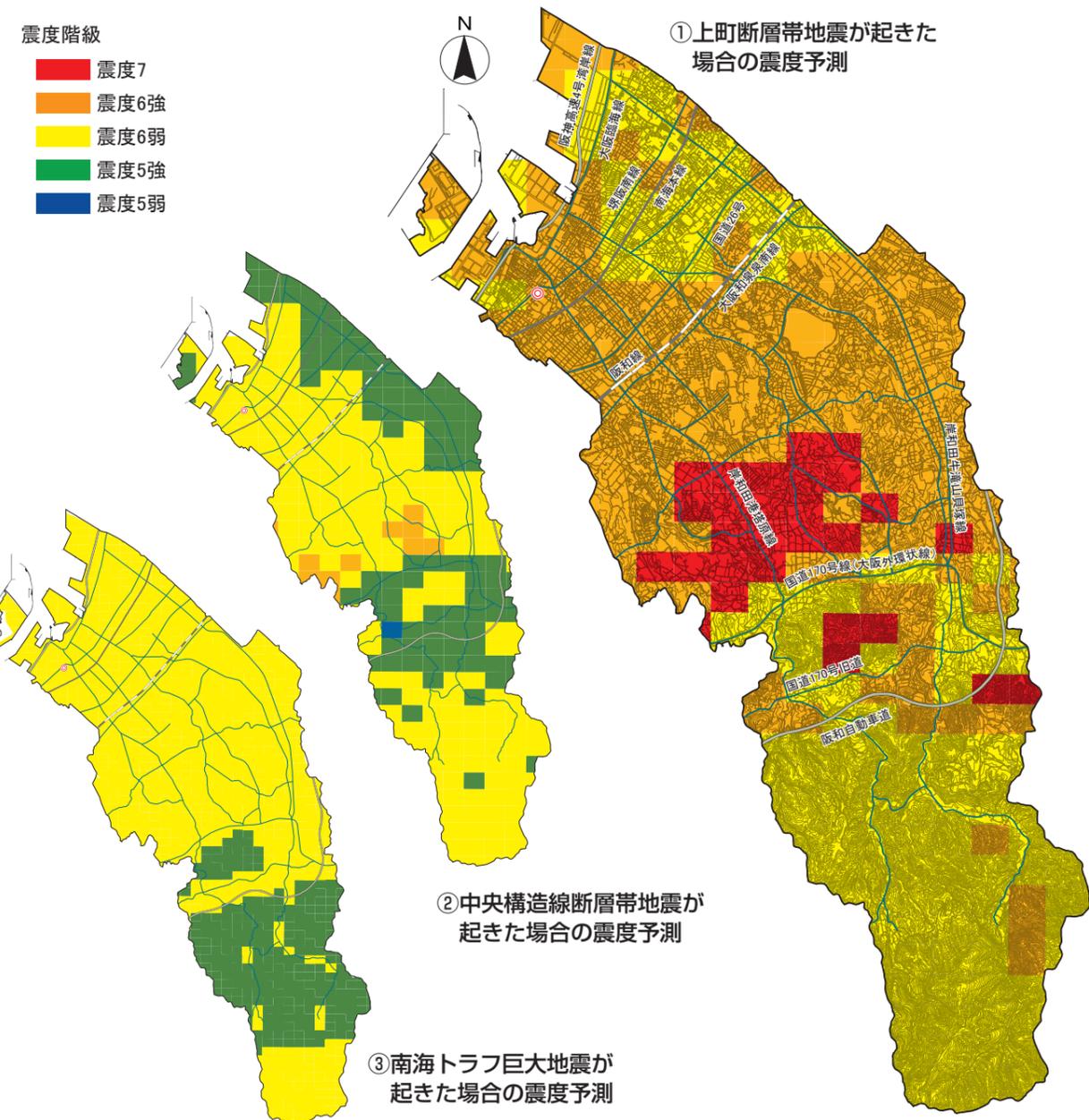
想定される震度

内陸型地震（直下型地震）

- どこで起きる？ →活断層で起きる地震
- 例えばどの地震？ →阪神・淡路大震災
- 特徴は？ →
 - ・被害範囲が比較的狭い
 - ・ガタガタと短時間強く揺れる
 - ・日本のどこでも起こりうる

海溝型地震

- どこで起きる？ →プレートの境界で起きる地震
- 例えばどの地震？ →東日本大震災、南海トラフ地震
- 特徴は？ →
 - ・被害範囲が広い
 - ・ゆっくり大きく長時間揺れる
 - ・津波が発生することもある



このマップで示す震度・液状化危険度は、仮定した震源や地震規模に基づくものであるため、地震発生仕方によって、予測より強くなったり弱くなったりすることがあります。3つのうち、岸和田市で最も大きい震度が想定されるのは①上町断層帯地震であり、市全域で震度6弱以上、最も大きい地域では震度7が想定されます。

想定される液状化危険度

液状化の仕組み

砂等の粒同士がくっついてその間を水が満たして地盤を支えている。

地震時
地盤によって、粒同士の結合がなくなり、水に浮いた状態になる。

地震後
砂の粒は沈下して水と分離し、地盤沈下や亀裂を引き起こす。

